

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 3月28日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600110
法人名	有限会社やわら
事業所名	グループホームかな
所在地	鹿児島県曾於市末吉町南之郷77-1 (電話) 0986-76-3723
自己評価作成日	平成29年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年3月14日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

かなは、田畑や山を望む広々とした田舎ならではの景色の中に建っています。  
日々、スタッフと入居者の皆さんは生活に張りが持てるように一緒過ごしています。楽しみを絶やさない様に、四季を感じて頂けるようにと、花見、ちまき作り、七夕、クリスマス、餅つき、初詣など年間の行事にも力を入れて取り組んでいます。特に花見や初詣は綺麗な景色に喜ばれたり、初詣ではお参り・御神籤を行えた事に、すごく喜ばれます。  
暮らしの中では、笑顔の絶えない毎日であり心地よく過ごして頂けてると思われます。  
又、心身の管理に於いても訪問看護や医療機関との連携も密に取っており、安心して暮らせる環境にあり、人生の終焉を住み慣れた場所での要望の際は、看取りも行っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

**【理念の共有と実践】**  
「すきな時に、すきな事ができる生活」「したい事、したくない事を理解し、趣味を生かしながら、生きがいに張りが持てる生活」「家族や友人、地域との交流」など、本人本位の自由な暮らしにつながる理念を掲げ、定期的に理念が実践できているかを確認し合っている。

**【医療との連携、重度化した場合の対応について】**  
家族と職員が協力し合い、利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診につなげているほか、訪問看護事業所からの看護師の派遣や協力医療機関の医師の往診もあるため、安心した生活を送ることができている。  
また、重度化した場合の対応や看取りに関する勉強会を計画的に実施することで職員のスキルアップを図っている。本年度は3名の看取り実績があり、医療機関等含めた関係者全員で連携を図りながら支援している。

**【地域とのつながり】**  
利用者の高齢化に伴い外出する機会は少なくなったが、地域の清掃活動に参加したり、近所を散歩する際には地域の方と挨拶や会話を交わしている。  
また、緊急時の際に近所の方々の協力が得られるよう、日頃から近隣事業所に挨拶に出向くなど顔を合わせる機会を持つようになっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は職員会議や掲示物を通じて共有し、実践に繋がっている。	利用者のしたい事、したくない事を理解し、すきな時にすきな事ができる生活の支援を理念に掲げ、職員は日々利用者に寄り添い見守ることで、できない部分をお手伝いするという形で支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議での情報交換や、利用者さまとの散歩や買い物などでご近所との交流を行なっている。	利用者の重度化に伴い地域とのつきあいが難しい状況ではあるが、清掃活動に参加したり、事業所の主旨の理解につながるよう近隣の床屋や森林組合、ガソリンスタンド等にこまめに挨拶に出向き関係を築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じて、認知症の理解や支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在の入所者の状況や内部研修等報告にて、家族の要望や行政、地域からの声を反映している。	会議には家族代表や行政職員、民生委員らのほか、地域代表の方も参加され、主に事業所の活動内容や利用者の身体状況等の確認報告を行っている。緊急時の対応を密にとる必要があるという意見に対し、近隣と連絡を取り合い消防団とも連携を図るなど早急に取り組むことができた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営に必要な相談を電話や窓口に出向くなどして連携をはかっている。</p>	<p>行政職員とは運営推進会議のほか、介護認定更新手続きや相談事があるときに訪問するなどして意見や助言を頂いている。また、地域包括支援センター主催の研修会や曾於市認知症ホーム会での意見交換もなされるなど日頃から連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は身体拘束の排除の必要性について理解を深める為に施設内研修を持って実践に活かす様に努めている。</p>	<p>身体拘束や虐待に関する研修会を年2回実施しており、見守りを徹底することで自由な暮らしを支援している。また、言葉による拘束については、日頃から十分に気を配っているところであり、方言を使うことのメリットについても十分に考慮しながら会話をし、接するようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修を年二回設けて学ぶ機会を持っている。また外部研修にも積極的に参加をし学ぶ機会を設けたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がないが、今後内部研修や外部研修に参加し話合いの場を設けていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前の面談にて特に料金については詳しく説明している。家族の意向や不安な事などできるだけ多くの意見を聞き不安解消に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見は常にコミュニケーションの中から引き出し運営に反映し、機会を9月に、敬老会と家族会などの場を作り意見などを聞き実施。今後も継続していく。</p>	<p>意見や要望を伝えることのできない方の様子を十分に把握し、カンファレンスで思いを汲み取るよう努めており、家族からは来所時や家族会で意見を聞くようにしている。出された意見や要望については、早急に職員間で話し合い対応することで事業所の運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案は職員会議で拾い上げ、管理者は代表へ伝えるよう努めている。</p>	<p>申し送り時や職員会議で意見を聞き、早急に対応することで職員の安心につながっている。勤務表作成時は職員の休みの希望に応じたり、資格取得者の休みを優先して組みこみ勉強時間にあてることなど職員一人ひとりが働きやすいよう配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の1年間の実績を見て給与等に反映するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が仕事に意欲が持てるようにコミュニケーションを図りながら、個々にあった研修の参加の支援等をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の会に参加し、同業者同士の交流をし、今後地域の同業者に協力をいただきながら、意見交流を行いサービスの質の向上に努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に特別な理由が無い限り面会に行き要望等に耳を傾けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の相談の際、不安や要望等に耳を傾け、サービス開始に当たり少しでも不安を取り除けるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族、本人へ関係しておられた方々より情報収集を行い、支援方法に、努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>馴染みの関係を築き、良き理解者になれるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出の際の支援や面会の際にはコミュニケーションに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の買い物に同行されたり、自宅への帰宅支援等を行っている。家族や友人が面会に来られた際は、居室などで有意義に時間が過ごせるよう配慮している。	これまでの人間関係や馴染みの場所をフェイスシートに記入することで把握し、個々の希望する買い物やお墓参りに職員と家族が協力し合い対応している。また、家族の面会や家族が宿泊する場合もベッドを用意するなど家族との関係を大切に考え支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓やホールの所在地等の配置に特に注意をおこない、利用者同士がトラブル等起きぬよう、媒介して支え合える関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も遠慮なく相談して頂くよう、常々声掛けを行なうよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>あ</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、汲み取るよう努め、把握に苦慮する方は、カンファレンス等で検討を実施している。	日頃の言動や入浴時の会話のほか、担当職員による様子観察等から思いを把握し、申し送り時や職員会議で情報共有を図っている。また、緊急時にはその都度カンファレンスを開き話し合うなど本人本位の生活につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や他サービス利用者中の関係者、馴染みの方々より生活歴等を把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックは勿論の事、言動等に注意するように努めている。普段の状態把握に努める努力をすることにより、異変に気づきやすくしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の他、居宅サービス事業所や医療関係からも可能な限り情報を得た中でケアプランに反映させる様に努めている。プランは定期的にモニタリングを行い現状に合わせて見直しを行っている。	本人や家族の意向を中心に担当職員の把握した情報や支援経過、また主治医や訪問看護事業所の看護師からの情報も参考にしながら関係者全員の意見を組みこんだ介護計画としている。入退院等により利用者の状態が変化した場合は、速やかに介護計画を見直すなど常に現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の状態が一目でわかるような個別記録を行っており、特に重要な情報等を申し送る欄を設けている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の状況変化等に対応できるように相談しやすい環境作りに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	できる限りの地域資源把握に努め日々本人らしい暮らしができるように努める。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居相談の際に確認を行う等し、本人の病状に応じた医療が受けられるよう支援している。	入居前のかかりつけ医を把握し、家族と職員が協力し合い受診している。協力医療機関による往診や訪問看護師による健康管理も適切になされ、受診の内容は情報提供書で指示や意見をもらうとともに支援経過に記録し申し送り時に共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師の定期訪問に加え、状態変化等に随時相談をし、速やかに受診等ができるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の場合、環境の変化が起きやすい為、面会にて声掛けを行なう等の支援をしている。ホームにてできる治療の場合は訪問看護師と連携を図りながら安心して治療できるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に事前説明を行い、時点での意向を一度伺う形を取っている。随時、意向変化などには柔軟に対応させて頂いている。 又、医療とも密に連携を取れる体制にある。</p>	<p>入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」「医療連携体制（看取り）同意書」の説明を行い同意を得ている。重度化や看取りに関する勉強会を計画的に実施している。本年度は3名の看取りを行い、本人や家族の望む暮らしを最期まで関係者全員で協力し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生時の対応をその都度行っているが、今後外部からの応援をいただきながら実践力を身につけたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼夜想定の子難訓練、消防にも協力依頼の下、年間計画記載。実施。地域との協力体制としては運営推進にて地域連携に努めている。</p>	<p>民生委員や地域の協力者の参加の下、年2回夜間想定の子災訓練や風水害訓練を実施した。各居室入口に避難確認プレートを掲げるなど工夫がされている。備蓄や備品については、若干心もとないため、準備したい旨を確認した。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄の失敗、食事の食べこぼし等の際の声掛けに注意を払っている。	年間計画に認知症の理解や接遇に関する研修会を組みこみ、トイレ誘導等の声のかけ方や抑揚をつけた話し方に気を配るなど対応している。また、ポータブルトイレは日中は部屋の隅に置くなど目に付かないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境や、表情、声掛けを行いながら希望を表して頂いたり、自己決定できるような方法を見つけたり努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に応じて暮らしていただけるよう努力しているが、臥床傾向にあられる方に対してはリズムを整える為にレク参加を促す支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ホーム内では、入浴後化粧水塗布。櫛を通したりと整容の援助をさせて頂いてる。外出時も同様、整容の気配りに努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、配膳、後片づけ等職員と一緒にしている。	調理の下ごしらえや配・下膳、食器洗いなど一連の工程を利用者と職員が一緒に取り組み、同じメニューを会話を楽しみながら食べている。個々に応じた食事形態の工夫や行事食の提供、お弁当持参で出かけるなど食事が楽しみになるよう様々な工夫を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に水分摂取に注意をおこなっ ている。甘味をつけたり工夫を おこなっている。又水分摂取量 が少ない利用者様には、水分量 もチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎日義歯を消毒し、口臭等気を つけている。うがい、歯磨きが 上手くできない利用者様には、 職員が介助し口腔用シートなど 使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	オムツは個々に適応数使用し、 自身で困難な方に於いては二人 介助で対応するなど失敗へ繋が らない様に努めている他、誘導 時、出来る所を本人に任せ出来 ない所を援助させて貰い支援し ている。	日々の排泄チェック表を「ケア実施 表」にまとめ直し、職員は常にこれ らを確認してケアにあたっている。 おむつから布パンツへの移行や排泄 状況に応じて、オリゴ糖やヤクルト 等で整腸に努めるなど、利用者の身 体に負担にならないよう工夫し、対 応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	便の状態を確認し、水分を増や したり、時には下剤の検討をお こなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在1日おきの入浴であるが、本人の要望に沿う形で支援している。	隔日の入浴日にはあるが、希望があればいつでも入浴は可能であり、シャワー浴や足浴にも対応している。また、入浴剤を使用したり、職員との会話を楽しみながら気持ちよく入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の調整や、空調、明かり等環境の設備や入眠前の声掛けに工夫をおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は、全て職員が行っている。職員は効能、副作用を理解し、変化時は速やかに医療機関へ相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗洗いや、洗濯畳、本人の力量にあわせ張り合いのある日々を過ごしていただいている。欲しい物の買い物など一緒に同行させて頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望時は随時支援対応している。その他外出などは主に家族協力の下で実施されている。	屋内ばかりではストレスにつながるため、年間行事計画に初詣や花見、ドライブなどを組み込むほか、個々に希望する買い物に出かけたりしている。また、家族の協力の下、美容室や外食等に出かけるなど、馴染みの場所にも積極的に出かける機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御買い物支援を行なっている方に対し買い物が一人でもできる喜びを継続できるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により電話の支援を随時おこなっている。又、手紙が、ご家族より届いた際の代弁に努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>空間作りとしては、四季折々飾り付けを実施。他、清潔保持に努めている。不快さは、遮光等に気配り、扉の出入りの音などに注意を払っている。</p>	<p>ユニットは別棟になっているが、屋根があるため行き来しやすい造りになっている。玄関はフラットで出入りしやすく、フロアに面して各居室が設けられており、目が行き届きやすく安全性が高い。台所はフロア中央に設けられ、利用者も自由に食器洗い等、利用することが出来ている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにて少人数座れるソファを設置する等し、気の合う利用者同士の空間作りを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人使用されていた寝具や箆箆を持参して頂き、居心地の良い空間を作っている。	ベッドやエアコンは事業所で設置されており、その他自宅で使用していた馴染みのタンスやテレビを持ち込んで自由にレイアウトしてもらい、利用者が居心地よく過ごせる居室作りを支援している。また、掃除は毎朝職員が行っており、特に手すり等よく触れる箇所は消毒するなど清潔な住環境に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	便所、お風呂の表示を行い、迷われる事がないように工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は職員会議や掲示物を通じて共有し、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議での情報交換や、利用者さまとの散歩や買い物などでご近所との交流を行なっている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を通じて、認知症の理解や支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在の入所者の状況や内部研修等報告にて、家族の要望や行政、地域からの声を反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営に必要な相談を電話や窓口に出向くなどして連携をはかっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は身体拘束の排除の必要性について理解を深める為に施設内研修を持って実践に活かす様に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を年二回設けて学ぶ機会を持っている。また外部研修にも積極的に参加をし学ぶ機会を設けたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がないが、今後内部研修や外部研修に参加し話し合いの場を設けていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前の面談にて特に料金については詳しく説明している。家族の意向や不安な事などできるだけ多くの意見を聞き不安解消に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見は常にコミュニケーションの中から引き出し運営に反映し、機会を9月に、敬老会と家族会などの場を作り意見などを聞き実施。今後も継続していく。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の意見や提案は職員会議で拾い上げ、管理者は代表へ伝えるよう努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の1年間の実績を見て給与等に反映するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が仕事に意欲が持てるようにコミュニケーションを図りながら、個々にあった研修の参加の支援等をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の会に参加し、同業者同士の交流をし、今後地域の同業者に協力をいただきながら、意見交流を行いサービスの質の向上に努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に特別な理由が無い限り面会に行き要望等に耳を傾けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談の際、不安や要望等に耳を傾け、サービス開始に当たり少しでも不安を取り除けるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、本人へ関係しておられた方々より情報収集を行い、支援方法に、努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係を築き、良き理解者になれるように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出の際の支援や面会の際にはコミュニケーションに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の買い物に同行されたり、自宅への帰宅支援等を行っている。家族や友人が面会に来られた際は、居室などで有意義に時間が過ごせるよう配慮している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓やホールの所在地等の配置に特に注意をおこない、利用者同士がトラブル等起きぬよう、媒介して支え合える関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も遠慮なく相談して頂くよう、常々声掛けを行なうよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、汲み取るよう努め、把握に苦慮する方は、カンファレンス等で検討を実施している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や他サービス利用者中の関係者、馴染みの方々より生活歴等を把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックは勿論の事、言動等に注意するように努めている。普段の状態把握に努める努力をすることにより、異変に気づきやすくしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の他、居宅サービス事業所や医療関係からも可能な限り情報を得た中でケアプランに反映させる様に努めている。プランは定期的にモニタリングを行い現状に合わせて見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の状態が一目でわかるような個別記録を行っており、特に重要な情報等を申し送る欄を設けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の状況変化等に対応できるように相談しやすい環境作りに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>できる限りの地域資源把握に努め日々本人らしい暮らしができるように努める。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居相談の際に確認を行う等し、本人の病状に応じた医療が受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師の定期訪問に加え、状態変化等に随時相談をし、速やかに受診等ができるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の場合、環境の変化が起きやすい為、面会にて声掛けを行なう等の支援をしている。ホームにてできる治療の場合は訪問看護師と連携を図りながら安心して治療できるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に事前説明を行い、時点での意向を一度伺う形を取っている。随時、意向変化などには柔軟に対応させて頂いている。又、医療とも密に連携を取れる体制にある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生への対応をその都度行っているが、今後外部からの応援をいただきながら実践力を身につけたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜想定の子難訓練、消防にも協力依頼の下、年間計画記載。実施。地域との協力体制としては運営推進にて地域連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄の失敗、食事の食べこぼし等の際の声掛けに注意を払っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境や、表情、声掛けを行いながら希望を表して頂いたり、自己決定できるような方法を見つけたり努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に応じて暮らしていただけるよう努力しているが、臥床傾向にあられる方に対してはリズムを整える為にレク参加を促す支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ホーム内では、入浴後化粧水塗布。櫛を通したりと整容の援助をさせて頂いている。外出時も同様、整容の気配りに努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや、配膳、後片づけ等職員と一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に水分摂取に注意をおこなっている。甘味をつけたり工夫をおこなっている。又水分摂取量が少ない利用者様には、水分量もチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日義歯を消毒し、口臭等気をつけている。うがい、歯磨きが上手くできない利用者様には、職員が介助し口腔用シートなど使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツは個々に適応数使用し、自身で困難な方に於いては二人介助で対応するなど失敗へ繋がらない様に努めている他、誘導時、出来る所を本人に任せ出来ない所を援助させて貰い支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の状態を確認し、水分を増やしたり、時には下剤の検討をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在1日おきの入浴であるが、本人の要望に沿う形で支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の調整や、空調、明かり等環境の設備や入眠前の声掛けに工夫をおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は、全て職員が行っている。職員は効能、副作用を理解し、変化時は速やかに医療機関へ相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗洗いや、洗濯畳、本人の力量にあわせ張り合いのある日々を過ごしていただいている。欲しい物の買い物など一緒に同行させて頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望時は随時支援対応している。その他外出などは主に家族協力の下で実施されている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	御買い物支援を行なっている方に対し買い物が一人でもできる喜びを継続できるよう支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人の希望により電話の支援を随時おこなっている。又、手紙が、ご家族より届いた際の代弁に努めている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	空間作りとしては、四季折々飾り付けを実施。他、清潔保持に努めている。不快さは、遮光等に気配り、扉の出入りの音などに注意を払っている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ホールにて少人数座れるソファを設置する等し、気の合う利用者同士の空間作りを工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人使用されていた寝具や箆笥を持参して頂き、居心地の良い空間を作っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>便所、お風呂の表示を行い、迷われる事がないように工夫している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない